

令和八年度 入学試験問題 (2期)

現代の国語・言語文化

第1問 次の文章を読んで、後の問(問一～問六)に答えよ。

日本語は、自分と相手の人間関係がはっきりと表される言語です。

(1) 今日は、大学に行くんだよ。

(2) 今日は、大学に行きます。

相手が友だちなら(1)を、あまりよく知らない人や、目上の人なら(2)を使います。逆に、(1)を聞けば、相手は友人とすぐにわかります。このように、日本語は、いちいち人間関係を考えて語尾変化をしなければいけない。これを小さいときから何十年とやるわけですから、人間関係に敏感になっても不思議ではありません。

英語などのヨーロッパ言語ではこのような人間関係に影響された動詞の語尾変化がなく、英語だったら、どちらも「I'm going to school today.」ですみます。一方、英語話者はものが一つか二つ以上かということに、いちいち注意をはらわなければならない。複数形という文法事項があるからです。ですから、ものが一つか二つ以上かということに敏感になっても不思議ではありません。

最近の実験研究から二つ紹介しましょう。

韓国語で、「キッタ」という動詞があります。これは、何かがある場所にぴたつとはまるようにときに使います。この「キッタ」が表す現象に対して、韓国語話者は敏感に反応しますが、英語話者は反応しません。A、英語や韓国語を習得する前の幼児は、韓国人、アメリカ人のどちらもこの区別に敏感なのに対して、アメリカ人は英語を習得することに

- (3) He walked/ drove/ swam/ flew/ to France.

彼は歩いて / 車で / 泳いで / 飛行機で / フランスへ行った。

よって、その区別ができなくなってしまう。

またたとえば、上の(3)のように、英語のような言語は、「**B** 移動の様態」を動詞そのものに表すことが多いので、そこに敏感になることが実験で示されています。

それに対して日本語は、「行った」を独立した動詞として使い、その「やり方」は付加的に表すのがふつうです。移動の「方法、様態」に敏感な英語話者は、同じビデオを見ても、そうでない言語の話者（スペイン語や韓国語話者）よりも、移動の方法をよく覚えていて、といった研究結果が出ています。

日本語のさまざまな特徴が、私たち日本人のものの見方に少なからず影響をあたえても不思議ではありません。たとえば、日本語は主語を言わないでもいい言語であるということが昔から指摘されています。^ア主語を言わないことが私たちの思考に影響するのでしょうか。

主語を（ほとんど必ず）言う言語には、英語、フランス語、スウェーデン語などがあります。それに対して、主語を省略してよい言語に、スペイン語、イタリア語などがあり、主語も目的語も言わなくてもいい言語に、日本語、中国語、韓国語などがあります。会話では、多くの場合、主語がころころ変わることはありません。ですから多くの場合には、言わないでも主語がわかるわけです。

日本語には、主語を言わないですませるような性質がもう一つあります。それは、日本語が自動詞を好む、という性質です。主語を言わない、というのは、「誰が」あることをしたか、つまり「動作主」を言わない、ということにもつながります。ですから、「誰が」何をしたかということと言いたくないときや、言う必要がないときに、自動詞文や受け身の文を使うわけです。

次ページの(4)の三つを比べると、他動詞文が一番動作主に注目した文ということになります。ジョンが動作主だということがはっきり表されているからです。一方、自動詞文は、動作主にまったく注目していませんし、動作主がいるかどうかははっきりしない。そして、受け身文がその中間で、by John（ジョンによって）と動作主を示すこともできます。

他動詞文	受け身文	自動詞文
(4) ジョンはドアを開けた。 John opened the door.	ドアが開けられた。 The door was opened.	ドアが開いた。 The door opened.
(5) 警察は泥棒をつかまえた。 The police arrested the thief.	泥棒がつかまえられた。 The thief was arrested.	泥棒がつかまった。 ?? The thief arrested. (英語では成立しない)

そして、面白いのは、日本語では(5)の自動詞文のように、^イ動作主がいるにもかかわらず、自動詞で表すことができる場合がけっこうあるということです。「みつかる」「つかまる」「決まる」「(建物^が)建つ」。これらは英語など、動作主を示すのを好む言語では受け身でしか表せないのです。(なお、マラティ語、ヒンディー語などの南アジア言語は、日本語と同様に、動作主を言わない傾向があるということです。)

C、「主語を言わなくてもいい言語」(スペイン語、日本語)の話者よりも、「主語が必須の言語」(英語)の話者の方が、まったく同じビデオを見ても動作主をよく覚えていて、という実験もあります。いつも言語で表しているものには自然に注意が向けられるというわけです。

主語を言わない言語を理解するときには、推測を使わなければなりません。というのは、私たちはことを理解するときに、頭の中に「メンタルモデル」と呼ばれるイメージのようなものを作って理解しているのです。主語が言われなくても、コンテキスト(文脈、流れ)から推測して主語が必要だと判断すれば、主語の表す対象のイメージを作って文を理解します。

先日、ある人のことについて知人として話をしていたのですが、女性のイメージを抱いて会話をしていたのに、ある段階で男性だとわかって意外に思った、ということがありました。読者の皆さんも同様の経験があると思います。これは英語の場合には起こりません。英語はほぼ必ず主語を言うし、二回目以降は代名詞になるので、男性か女性かは代名詞 he/she という形ではつきりと示されるからです。

つまり、主語に関しては、日本語のほうが推測にたよる部分が多いということです。主語を言わないために、誰のことを話しているのかわからない、「今誰の話^{はなし}してたの？」などという場面も日常におこります。このような言語を日常的に使っている人のほうが、文脈から推測する能力は高いので

はないだろうか、という仮説が立てられます。これを直接テストした研究はまだありませんが、関連した研究をつぎに紹介します。

心理学の一つの研究分野として、「心の理論」というものがあります。この名前からはわかりにくいのですが、簡単に言うと、人は「他人の心の状態に関する理論」を持っている、という考え方です。つまり、他人が怒っているとか、うれしいとか、自分と同じ考えを持っているとかを意識することができるといいうことです。「こんなことを言ったら、あの人はどう思うだろうか」などと、私たちはいつも考えています。大人にとってはあまりにも当たり前のことですが、実は小さな子どもはこれができません。三歳くらいまではできないのです。また、人間以外の動物には、心の理論がないと考えられています。人間に言語があるのは心の理論があるからだ、という主張もあります。



「誤った信念課題」の例（子安増生著『子どもが心を理解するとき』に基づいて作成）

心の理論が発達したかどうかを調べるのに、「誤った信念課題」というテストをよく使います。前のページの図のようなストーリーをみせて、最後に質問を出します。

- ①花子がかごに人形を入れて、部屋を出て行く。
- ②その間に、直美が入って来て、人形をかごから出し、
- ③となりの箱に入れてしまう。
- ④さて、部屋に戻ってきた花子は、どこに人形があると思ってさがすでしょうか。

大人は皆、Dと答えるのですが、三歳未満の子どもはそれがわからず、Eと答えます。つまり、「花子は、Fの中に人形が入っていると思っている」ということがわからないということです。

心の理論の発達にとって、プラスになるのが、言語だと言われています。たとえば、「〜と思う」「〜と信じる」などの動詞が使えるようになることが、心の理論の発達の必要条件とも言われています。

日本語には、さらに、相手が何を思っているかを表す「文法形式」があります。「ね」「よ」「かな」などの終助詞がそれです。「ね」は相手と自分が同じことを知っている（思っている）ことを示し、「よ」は相手が（よく）知らないことを自分のほうがよく知っていることを示します。「かな」は自分があまりはつきりとした自信がないことを示します。ウこ

これらの表現は、子どもが小さいときから非常によく使われるので、日本人の子どもは「心の理論」の発達が早いのではないかと考えられました。ドイツ語にはこのような文法形式がないので、ドイツ人と日本人の三歳児を比較して前記の「誤った信念課題」を使って実験をしたところ、日本人の子どもは、使われた言語表現に基づいて登場人物の思っていることをある程度推測できるのに対して、ドイツ人の子どもはそれができない、という結果が出ました。これも、言語が思考に影響を与えるという説からは納得のいくことです。

ここまででは、言語が認知に影響を与える、という方向を考えてきましたが、では、その逆はないのでしょうか。つまり、言語がある特質を持つに至るのには、理由があるのではないか、たとえば、日本語が人間関係によって動詞の語尾を変えるに至ったのは、もともと人間関係が日本社会で重要な位置をしめていたからではないか、ということです。

敬語は、主に対象敬語と対者敬語に分かれます。前者は、尊敬語・謙讓語とも呼ばれ、話の対象に対して敬意をはらうもので、「先生がいらっしゃいました」の、「いらっしゃる」という動詞は先生という対象に敬意をはらっています。一方、後者は丁寧語とも呼ばれ、聞き手に敬意をはらうものです。「あの人は先生です」の「です」は、先生に敬意をはらっているのではなく、今話している相手に敬意をはらっているわけです。対象敬語は奈良時代からありましたが、対者敬語は平安時代、貴族階級の複雑化とともに、社会的階級が複雑化したことによって、話す相手に対して尊敬を示す必要が出てきたから発生したのではないかと推測されています。

この場合は、人間関係を表す社会的必要性が先に生まれて、それが言語表現に表されるようになったと考えるのが自然です。つまり、文化ないし思考のほうが言語を規定する、ということです。そして、ある概念が文法的に言語で表されるようになる、それが今度は認知や思考にも影響を与えるようになります。要するに、いわば双方向的に影響を与え合う、ということでしょう。

「最近の若い人は敬語が話せない」というときの「敬語」は、主に対象敬語（つまり、尊敬語と謙讓語）です。現在の複雑な尊敬語と謙讓語のシステムはそのうちなくなるか、単純化されるでしょう。これも、日本社会が昔ほど上下関係を感じになくなり、社会関係が平等になってきたことの必然的帰結なのかもしれません。

（白井恭弘著『しらひやすひろことばの力学―応用言語学への招待』に基づく）

問一 空欄 に入る言葉の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

解答欄は、。

- | | | | | | | |
|---|---|-----|---|------|---|-------|
| ① | A | そして | B | しかも | C | したがって |
| ② | A | しかし | B | いわゆる | C | ただし |
| ③ | A | さらに | B | つまり | C | また |
| ④ | A | また | B | あるいは | C | ところが |

問二 傍線部ア「主語を言わないことが私たちの思考に影響するのでしょうか」とあるが、この文より後の部分では、「主語を言わない」「私たちの思考」について、どのような論が展開されているか。適切でないものを、次の①～④の中から一つ選べ。 解答欄は、.

- ① 日本語は「主語を言わない」だけでなく、目的語も言わないですませられるということを、英語の受け身文との比較から説明している。
- ② 日本語の「主語を言わない」でもすむという文法的な特徴が、動作主の省略につながるということを、例文を用いて述べている。
- ③ 「私たちの思考」に影響を与えている日本語の表現方法を紹介するとともに、思考の表れとしての日本語の特徴という逆の側面にも言及している。
- ④ 「私たちの思考」に言語が影響を与える例として、日本とドイツにおける子どもの「心の理論」の発達を比較して示している。

問三 傍線部イ「動作主がいるにもかかわらず」とあるが、(5)の「泥棒がつかまった」の文について、自動詞文で表した
 ことによって消えてしまった動作主は何か。最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選べ。解答欄は、ウ。

- ① 警察 ② 泥棒 ③ 話者 ④ 私たち

問四 空欄D F に入る言葉の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選べ。
 解答欄は、エ。

- | | | | | | |
|-----|----|---|----|---|----|
| ① D | かご | E | 箱 | F | 箱 |
| ② D | かご | E | 箱 | F | かご |
| ③ D | 箱 | E | かご | F | 箱 |
| ④ D | 箱 | E | かご | F | かご |

問五 傍線部ウ「これらの表現は、子どもが小さいときから非常によく使われるので、日本人の子どもは『心の理論』の発達
 が早いのではないかと考えられました」とあるが、なぜそのように考えることができるのか。その理由として最も適
 切なものを、次の①～④の中から一つ選べ。解答欄は、オ。

- ① 「～と思う」「～と信じる」などの動詞が使えるようになるのが早いから。
 ② 相手が何を思っているのか、自分はいっぴかりとした自信がないから。
 ③ 相手が自分と同じことを知っているか知らないかということについて、自然に意識するようになるから。
 ④ 思いやりの心が豊かになって、他者の思っていることをある程度推測できるようになるから。

問六 本文の内容と合致するものを、次の①～④の中から一つ選べ。解答欄は、

力

。

- ① 日本語は相手との人間関係がはっきりと表される言語であり、その特徴が語尾変化や敬語に見られる。
- ② 会話では多くの場合、主語がころころ変わるの、日本語では主語を言わないようになった。
- ③ 日本語は自動詞を好む傾向があるので、主語を言わないで、動作主を明示した文を作るようになった。
- ④ 日本語は主語に関して推測にたよる部分が多いので、日本人はドイツ人に比べて心や思考が豊かである。

第2問 次の文章を読んで、後の問（問一～問七）に答えよ。

ウイルスは、単細胞生物よりもずっと小さい。大腸菌をラグビーボールとすれば、ウイルスは（種類によって異なるが）ピンポン玉かパチンコ玉程度のサイズとなる。光学顕微鏡では解像度の限界以下で像として見ることはできない。ウイルスを「見る」ことができるようになったのは、光学顕微鏡よりも十倍から百倍もの倍率を実現する電子顕微鏡が開発された一九三〇年代以降のことである。

（注1）野口英世が（注2）黄熱病に斃れたのは一九二八年である。まだ世界はウイルスの存在を知らなかった。そして、彼が生涯をかけて追った黄熱病も、狂犬病も、その病原体はウイルスによるものだった。ア彼が、繰り返し繰り返し顕微鏡で観察したその視野の背景は、彼の性急さを一瞬でも押しとどめ未知の可能性を喚起するには、あまりにも明るく透明すぎたのだった。

ウイルスを初めて電子顕微鏡下で捉えた科学者たちは不思議な感慨に包まれたに違いない。ウイルスはこれまで彼らが知っていたどのような病原体とも異なっており、非常に整った風貌をしていたからである。斉一的すぎるとさえいつてもよかった。

科学者は病原体に限らず、細胞一般をウェットで柔らかな、大まかな形はあれど、それぞれが微妙に異なる、脆弱な球体と捉えている。Aウイルスは違っていた。それはちょうど（注3）エッシャーの描く造形のように、優れて

Xな美しさをもっていた。あるものは正二十面体の如き多角立方体、あるものは繭状のユニットがらせん状に積み重なった構造体、またあるものは無人火星探査機のようなメカニカルな構成。そして同じ種類のウイルスはまったく同じ形をしていた。そこには大小や個性といった偏差がないのである。なぜか。それはウイルスが、生物ではなく限りなく物質に近い存在だったからである。

ウイルスは、栄養を摂取することがない。呼吸もしない。もちろん二酸化炭素を出すことも老廃物を排泄することもな

い。**B** 一切の代謝を行っていない。ウイルスを、混じり物がない純粹な状態にまで精製し、特殊な条件で濃縮すると、「結晶化」することができる。これはウエットで不定形の細胞ではまったく考えられないことである。結晶は同じ構造を持つ単位が規則正しく充填^{じゅうてん}されて初めて生成する。**C**、この点でもウイルスは、鉱物に似たまぎれもない物質なのである。ウイルスの幾何学性は、タンパク質が規則正しく配置された甲殻に由来している。ウイルスは機械世界からやってきたミクロなプラモデルのようだ。

D、ウイルスをして単なる物質から一線を画している唯一の、そして最大の特性がある。それはウイルスが自らを増やせるということだ。ウイルスは自己複製能力を持つ。ウイルスのこの能力は、タンパク質の甲殻の内部に鎮座する単一の分子に担保されている。核酸^{じゅうたん}Ⅱ DNAもしくはRNAである。

ウイルスが自己を複製する様相はまさしくエイリアンさなである。ウイルスは単独では何もできない。ウイルスは細胞に寄生することによってのみ複製する。ウイルスはまず、惑星に不時着するように、そのメカニカルな粒子を宿主となる細胞の表面に付着させる。その接点から細胞の内部に向かって自身のDNAを注入する。そのDNAには、ウイルスを構築するのに必要な情報が書き込まれている。宿主細胞は何も知らず、その外来DNAを自分の一部だと勘違いして複製を行う一方、DNA情報をもとにせつせとウイルスの部材を作り出す。細胞内でそれらが再構成されて次々とウイルスが生産される。それら新たに作り出されたウイルスはまもなく細胞膜を破壊して一斉に外へ飛び出す。

ウイルスは生物と無生物のあいだをたゆたう何者かである。もし生命を「自己複製するもの」と定義するなら、ウイルスはまぎれもなく生命体である。ウイルスが細胞に取りついてそのシステムを乗っ取り、自らを増やす様相は、さながら寄生虫とまったくかわるところがない。しかしウイルス粒子単体を眺めれば、それは無機的で、硬質の機械的オブジェにすぎず、そこには生命の律動はない。

ウイルスを生物とするか無生物とするかは長らく論争的であった。いまだに決着していないといってもよい。それはとりもなおさず生命とは何かを定義する論争でもあるからだ。生物と無生物のあいだには一体どのような界面があるのだ

ろうか。私はそれを今一度、定義しなおしてみたい。

結論を端的に言えば、私は、

Y

。つまり、生命とは自己複製するシステムである、との定義は不十分だと考えるのである。では、生命の特徴を捉えるには他にいかなる条件設定がありえるのか。生命の律動？ そう私は先に書いた。このような言葉が喚起するイメージを、ミクロな解像力を保ったままできるだけ正確に定義づける方法はありえるのか。それを私は探ってみたいのである。

(福岡伸一^{ふくおかしんいち}著『生物と無生物のあいだ』に基づく)

(注) 1 野口英世……一八七六一一九二八。日本の医師・細菌学者。

2 黄熱病……蚊によって媒介される黄熱ウイルスによる感染症。

3 エッシャー……一八九八一一九七二。オランダの版画家。図形によって画面を規則的に埋め尽くす作品などで知られる。

問一 傍線部ア「彼が、繰り返し繰り返し顕微鏡で観察したその視野の背景は、彼の性急さを一瞬でも押しとどめ未知の可能性を喚起するには、あまりにも明るく透明すぎたのだった」とあるが、どのようなことを表しているか。最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選べ。解答欄は、ア。

- ① 野口英世が生きていた時代に存在した顕微鏡では、ウイルスを見ることができなかった。
- ② 野口英世は、顕微鏡で病原体を発見していたが、それがウイルスであると気づかなかった。
- ③ 野口英世は、電子顕微鏡を使えばウイルスが見えると予見していたが、それを実現することができなかった。
- ④ 野口英世は、病原体のウイルスを発見したが、発表する前に亡くなってしまった。

問二 空欄A～Dに入る言葉の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選べ。解答欄は、イ。

- | | | | |
|------------|--------|--------|---------|
| ① A ただし | B たしかに | C そして | D さらに |
| ② A しかしながら | B さらに | C あるいは | D また |
| ③ A ところが | B つまり | C つまり | D しかし |
| ④ A たとえば | B いわゆる | C しかし | D したがって |

問三 空欄Xに入る言葉として最も適切なものを次の①～⑥の中から一つ選べ。解答欄は、ウ。

- ① 作為的
- ② 原始的
- ③ 写實的
- ④ 幾何学的
- ⑤ 有機的
- ⑥ 流動的

問四 傍線部イ「ウイルスが、生物ではなく限りなく物質に近い存在だったからである」とあるが、このことを具体的に表

しているウイルスの特徴として適切でないものを、次の①～④の中から一つ選べ。解答欄は、エ。

- ① ウイルスは単独では何もできず、細胞に寄生することによってのみ自己を複製する。
- ② ウイルスは栄養を摂取せず、呼吸も排泄もしないなど、一切の代謝を行っていない。
- ③ ウイルスは特殊な条件で結晶化することができ、鉱物のような性質を持っている。
- ④ 同じ種類のウイルスはすべて同じ構造をしており、個体差が見られないほど斉一的である。

問五 傍線部ウ「ウイルスは生物と無生物のあいだをたゆたう何者かである」とあるが、筆者はウイルスはどのような存在

であると述べているか。最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選べ。解答欄は、オ。

- ① ウイルスには生物的な性質があり、同時に無生物的な性質があるがゆえに、簡単にどちらかに分類することは難しい。
- ② ウイルスは生命とは何かを定義する論争を経て、現在は無生物であると定義されている。
- ③ ウイルスはかつて無生物とされていたが、現在では明確に生物として認められている。
- ④ ウイルスは生物に寄生してその機能に干渉することから、生物を無生物へと変化させる存在といえる。

問六 空欄

に入る文として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

解答欄は、

力。

- ① ウイルスは自己複製するので、間違いなく生命体であると考え
- ② ウイルスはその形態の美しさゆえに、芸術作品として分類すべきだと思う
- ③ ウイルスを生物であるとは定義しない
- ④ ウイルスを生物とするか無生物とするかの議論には意味がないと考える

問七 本文の論の展開の説明として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選べ。解答欄は、

キ。

- ① ウイルスの構造的特徴を説明した上で、それが従来の生命観と矛盾しないことを論じ、生命の定義を裏づける例として紹介している。
- ② ウイルスの形態や機能を描写し、それらが生命の特徴とどの程度一致するかを検討しながら、生命とは何かという定義そのものを問い直す方向へと論を展開している。
- ③ ウイルスの発見過程と観察技術の変遷を振り返り、それが生物学の進展においてどのような意味をもつかを示すことで、科学的理解の深化を論じている。
- ④ ウイルスの危険性や感染力について論じた上で、現代社会における対応のあり方を提言し、生物と無生物の境界を実践的に捉えようとしている。

第3問 次の各問（問一～問七）を読んで、それぞれの指示に従って答えよ。

問一 次のA～Dの各群において、傍線部の漢字が適切でないものはどれか。それぞれ①～④の中から一つ選べ。

解答欄は、A ア・B イ・C ウ・D エ。

A

- ① 彼女は呼吸器の疾感で入院した。
 ② あの議員は汚職の発覚により失脚した。
 ③ 王子は城の中で孤立してしまった。
 ④ 彼の理論は偉大な発見だと言われている。

B

- ① 軽率な行動を慎むよう注意した。
 ② 地震の予知は現段階ではまだ難しい。
 ③ 市内を巡環しているバスを利用する。
 ④ 一年間の気温の変化を測定する。

C

- ① 彼を次期社長の候補に推薦したい。
 ② 見本の型紙に合わせて生地を裁断する。
 ③ 彼の顔色が真相を雄弁に物語っている。
 ④ 会社の名義で新しい口座を開いた。

D

- ① 駅項内は禁煙です。
 ② 汚くなった靴下を漂白した。
 ③ 会の趣旨を周知させていただきます。
 ④ 屈伸運動を準備体操に取り入れる。

問二 次のA～Dの各群において、漢字の読み方（カタカナ表記）が適切でないものはどれか。それぞれ①～④の中から一つ選べ。解答欄は、A オ ・ B カ ・ C キ ・ D ク 。

- A
- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| ④ | ③ | ② | ① |
| 会釈 | 柔和 | 素性 | 穏便 |
| (カイシヤク) | (ニユウワ) | (スジョウ) | (オンビン) |
- B
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| ④ | ③ | ② | ① |
| 醜態 | 湊谷 | 繁盛 | 捨象 |
| (シユウタイ) | (キョウコク) | (ハンジョウ) | (シャショウ) |

- C
- | | | | |
|--------|-------|-------|--------|
| ④ | ③ | ② | ① |
| 発作 | 奥義 | 解熱 | 感涙 |
| (ハツサク) | (オウギ) | (ゲネツ) | (カンルイ) |
- D
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| ④ | ③ | ② | ① |
| 施 | 凝 | 促 | 究 |
| (ホドコ)す | (カタマ)る | (ウナガ)す | (キワ)める |

問三 次のA～Cの各群において、傍線部の漢字の意味が他と異なるものはどれか。それぞれ①～④の中から一つ選べ。解答欄は、A ケ ・ B コ ・ C サ 。

- A
- | | | | |
|----|----|----|----|
| ④ | ③ | ② | ① |
| 調節 | 調律 | 調査 | 調整 |

- B
- | | | | |
|----|----|----|----|
| ④ | ③ | ② | ① |
| 秀逸 | 逸脱 | 逸材 | 逸品 |

- C
- | | | | |
|----|----|----|----|
| ④ | ③ | ② | ① |
| 情報 | 報道 | 報酬 | 報告 |

問四 次の①～⑧の中で、傍線部が現代の仮名遣いとして適切でないものを三つ選べ。ただし、順序は問わない。

解答欄は、

シ	・	ス	・	セ
---	---	---	---	---

。

- | | | | |
|---|-----------------------------|----------------------------|--|
| ① 腕 <small>うで</small> ずくで連れて行く | ② わし <small>づ</small> かみにする | ③ ほ <small>お</small> づえをつく | ④ 傷 <small>うづ</small> がう <small>づ</small> く |
| ⑤ 顔 <small>かほ</small> を近づ <small>ぢ</small> ける | ⑥ おお <small>とつ</small> のある壁 | ⑦ 身 <small>み</small> じかな問題 | ⑧ 風船 <small>ふうせん</small> がち <small>ぢ</small> む |

問五 次のA～Cの傍線部の意味として適切なものを、それぞれ①～④の中から一つ選べ。

解答欄は、A

ソ

・B

タ

・C

チ

。

A 今回の批判に関しては虚うそ心に受け止め、善処する所存です。

- ① わだかまりや先入観を持たずに、素直な心で物事に臨むこと。
- ② 物事の本質を深く考えず、平常心のままに当たること。
- ③ 多くの人の意見を聞き、よく考えて自分の態度を決めること。
- ④ 自分の考えをしつかり持ち、他人の言動に惑わされないこと。

B 不測の事態ふそくが起きた時にどのように行動するかで、その人の真価がわかる。

- ① 被害の程度が容易には把握できないほどの大惨事。
- ② 完成後の規模を予測できないほどの大事業。
- ③ 予測していなかった出来事。
- ④ 予測を超えるほど世界に大きな影響を与えるような事件。

C 同窓会で、気が置けない友人と久しぶりに会った。

① 信用できない友人。

② 一緒にいると、つい気を遣ってしまう友人。

③ 遠慮なく付き合える友人。

④ 場の雰囲気や和ませるのがうまい友人。

問六 次のA・Bの に入る言葉として最も適切なものはどれか。それぞれ①～④の中から一つ選べ。

解答欄は、A ツ ・ B テ。

A 高校生活で最後の試合を終え、涙が 流れた。

① すべからく

② とめどなく

③ ことごとく

④ いかんなく

B 自分の能力に自信を持っている人ほど、 自らが立てた策におぼれるものである。

① かねて

② あえて

③ えてして

④ ならば

問七 次のA～Dの□に入ることわざ・故事成語として最も適切なものはどれか。それぞれ後の①～⑧の中から一つ選べ。ただし、同じものを繰り返し使用してはならない。

解答欄は、A ト・B ナ・C ニ・D ヌ。

A あの人はいつも□で、自分に都合のよい方向に話を誘導する。

B □を胸に秘めて、都会へと旅立った。

C 彼にはいくら意見しても□で、少しも手ごたえがない。

D これは□の政策で、本質は前と変わらない。

① 青雲の志 ② 怪我^{けが}の功名 ③ 我田引水 ④ のれんに腕押し

⑤ 朝三暮四 ⑥ 釈迦^{しゃか}に説法 ⑦ 出藍の誉れ ⑧ 類は友を呼ぶ

〔現代の国語・言語文化の問題は以上です〕